

# かながわの交通

2018  
7

交通安全年間スローガン受賞作品（全日本交通安全協会会長賞）  
～一般部門（A）～ 運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの

## ぼく安心 チャイルドシートに 抱かれてる



桜小路公園

蓮池

(藤沢市鵠沼藤が谷)



### 道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って  
交通事故防止に努めましょう！

歩行者  
事故  
多発！

◎県内の交通事故発生概況(平成30年6月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
平成30年		12,857	71	15,212
平成29年		13,421	67	15,846
増 減 数		-564	+4	-634
増 減 率		-4.2	+6.0	-4.0

	総 数	男	女
県 人 口	9,180,700	4,579,081	4,601,619
免 許 人 口	5,634,705	3,226,641	2,408,064
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成30年6月1日、免許人口は平成30年5月末現在)

## 夏の交通事故防止運動

期 間 7月11日(水)～7月20日(金)の10日間

目 的 夏のレジャーなどに起因する過労運転や、夏特有の解放感による無謀運転などにより交通事故が多発することが懸念されることから、県民一人一人が交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

スローガン **安全は 心と時間の ゆとりから  
交通ルールを守って 夏を楽しく安全に**

- 重 点
- 1 過労運転・無謀運転の防止
  - 2 子どもと高齢者の交通事故防止
  - 3 自転車の交通事故防止
  - 4 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
  - 5 踏切の交通事故防止



### ご挨拶

公益財団法人神奈川県交通安全協会  
専務理事 菅 原 保



公益財団法人神奈川県交通安全協会の専務理事に就任いたしました菅原でございます。  
神奈川県交通安全協会は、昭和23年3月に発足以来、民間における交通安全活動の中核的な推進団体として、県民の交通安全意識の普及と交通事故防止に多大な成果をあげてまいりました。  
この歴史と実績のある当協会の専務理事に就任させていただき、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

県や県警察のご指導のもと県民の皆様をはじめ関係機関、団体の皆様のご支援、ご協力をいただき仕事を進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、県内における交通事故状況でございますが、昨年、発生件数、負傷者数は17年振りに増加となり亡くなられた方は149人と過去最少であった平成28年は上回ったものの、それに次ぐ少ない人数でありました。今年は6月末で発生件数、負傷者数は前年比を下回っておりますが、亡くなられた方は前年より4名増加し、高齢者が関係する死亡事故は全死者数の4割を超える勢いにあります。

また、二輪車事故、自転車事故も増加傾向を示しているなど、依然として厳しい状況が続いております。

当協会といたしましては、このような交通情勢を踏まえ、地区交通安全協会と一体となり、県、県警察をはじめ関係機関、団体のご支援ご協力をいただき、県交通安全活動推進センターとして県民の皆様の交通安全意識の高揚を図つてまいり存する所存でございます。

皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

### 第9回評議員会・第25回理事会の開催

6月18日午後2時から県協会会館において、第9回評議員会、引き続いて第25回理事会を開催しました。

評議員会では、板橋副会長挨拶、来賓として県警察本部綿引運転免許本部長の挨拶、関口評議員長の挨拶に続いて「平成29年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成29年度神奈川県交通安全協会決算報告」のほか、評議員等の改選について審議した結果、原案通り承認されました。

理事会では、只野専務理事の退任に伴い菅原常務理事が新たに専務理事として、さらに長澤総務部長が常務理事としてそれぞれ選任されました。



(第9回評議員会)

## 二輪車事故防止強化月間の実施結果

6月中、神奈川県交通安全対策協議会が主唱して「運転に ゆとり やさしさ 思いやり」をスローガンに、二輪車事故防止と二輪運転者の交通安全意識を高める運動を県民総ぐるみで推進しました。各地区交通安全協会の取組み、活動につきましては、本紙巻末にも一部紹介しています。



6月中及び6月末の二輪車の関係する事故は、発生件数、負傷者数はいずれも昨年より減少していますが、死者数は増加しています。6月末現在の二輪車関係死者数の構成率は、昨年20%を下回っていましたが、今年は33%を超えていました。

### ◎ 県内の二輪車事故発生状況(概数)

	6月 中			6月 末		
	発生件数	死 者 数	負傷者数	発生件数	死 者 数	負傷者数
平成30年	528	6	472	3,419	24	3,076
平成29年	733	2	670	3,690	13	3,301
増 減 数	-205	+4	-198	-271	+11	-225
構 成 率	25.3	37.5	19.3	26.6	33.8	20.2

※ 構成率は全交通事故件数、全死者数、全負傷者数に占める二輪車事故の割合

### 【地区交通安全協会新会長紹介(敬称略)】



◎加賀町  
近澤弘明  
(平成30年5月25日付)



◎磯子  
室井烈  
(平成30年6月21日付)



◎神奈川  
筒井恭男  
(平成30年6月8日付)



◎栄  
山田正利  
(平成30年6月1日付)



◎宮前  
山根文男  
(平成30年5月25日付)



◎茅ヶ崎地区  
佐藤たゑ子  
(平成30年5月28日付)



◎足柄  
大谷隆  
(平成30年5月18日付)



◎秦野市  
古谷光一  
(平成30年6月6日付)

## 地区交通安全協会事務長会議の開催

6月26日(火) 県協会会館において、県内の各地区交通安全協会の事務長が一堂に会して「地区交通安全協会事務長会議」を開催しました。

会議では県交通安全協会の菅原専務理事の挨拶、来賓として県警察本部滝口交通総務課長の挨拶に続いて、県協会事務局長から平成30年度の事業計画や各部の活動状況等について報告を行いました。

県警察と県くらし安全交通課担当者からは交通事故概況その他連絡事項について説明がありました。



## TSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店の表彰 (平成29年度中)

サイクルオリンピック…… 川崎鹿島田店、鶴見中央店、綱島樽町店、  
東戸塚店、平塚湘南シティ店、今宿店、  
港北ニュータウン店

ダイワサイクル …………… 幸店、宮前店、川崎多摩店



点検整備に伴うTSマークの貼付推進を通じて、自転車の交通事故防止と被害者救済に貢献したTSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店として、本県からは10店舗が選ばれました。

各店舗には県協会の長澤事務局長が赴いて、(公財)日本交通管理技術協会からの感謝状と副賞を店長等に伝達(写真)したところ、「受賞は励みになります。これからもTSマー

ークの普及を通じて自転車の交通事故防止、補償等についてアドバイスをしていきたい。」など受賞の喜びを語っていました。



(幸店)

# 平成29年度交通安全ファミリー作文コンクール 入賞作品の紹介

《中学生の部：佳作（警察庁交通局長賞）》

伊勢原市立中沢中学校 3年 山本 海晴

## ドライバー卒業

去年、僕の祖父が車の免許を自主返納した。

祖父は四年前に、脳梗塞で倒れた。手術をして命は助かったものの、後遺症で手足にしびれが残ってしまった。しかし、祖父は祖母と周りの人の支援のもと、リハビリを行い、普通に生活ができるまでに回復した。歩ける、話せる、字も書ける、とても良い状態になった。

祖父は車とバイクが大好きだった。運転が好きで、遠出してよく旅行を楽しんでいた。祖父と祖母が住んでいる静岡から、僕が住んでいる神奈川までバイクで遊びに来たこともあった。祖父と祖母の生活には車という交通手段が欠かせない。祖母は車の免許を持っていないので、スーパーや銀行に行くときは必ず祖父の車の運転で行っていた。駅までは遠いので車を使うこともあった。バスを使うときもあるが一時間に一本しかバスがないため、車が生活の生命線になっていた。病気で運転ができない間は、とても不便だった。移動にはバスやタクシーを使ったり、食べ物の宅配を頼んだりしていた。祖母は近くのスーパーに歩いて買い物に行った。それでも車を手放さなかったのは、祖父がいつかまた運転できると思っていたからだと思う。そして周りの家族も祖父に車を手放すように言えずに何年も過ぎた。

近年、高齢者ドライバーの運転による交通事故がニュースで相次いで報道されている。運動能力の低下や判断力の低下、認知症などが主な原因とされている。まきこまれた方がいると思うと恐ろしい事故である。便利な車が危険な道具に変わる一瞬だ。気をつけるだけではこのような交通事故は防げないのである。僕の父は、誰かをケガさせてからでは遅いと考え、祖父に、車を手放し免許を返納するように話をした。祖父は周りの説得に耳を傾け、去年、免許を返納した。

祖父が車の免許を自主返納することができたのは、周りのサポートがあったからである。祖父と祖母の買い物には静岡の親戚が車を出してくれている。僕の父と母も一ヶ月に一回、静岡に行き、病院に付きそい、大きな買い物を手伝っている。そういった周りの支援がなければ、生活できない高齢者はたくさんいると思う。交通事故の予防をすることは、大事なことだが、高齢者の気持ちに寄りそい、車をもたなくとも快適に暮らせる社会にする事が必要だと思った。



## 平成30年度交通安全ファミリー作文コンクール

家庭をはじめ、学校、職場、地域等において、交通安全について考え、話し合った内容や方法、その結果実行していることなどを作文に書いてご応募ください。

### 《応募期間》

平成30年6月20日(水)から9月10日(月)※当日消印有効

### 《応募区分》

●小学生の部 ●中学生の部 ●高校生・一般の部

※ 賞、副賞、表彰、応募方法その他詳細については、下記までお問い合わせください。

### 《お問い合わせ先》

事務局 (株)海風社内「交通安全ファミリー作文係」 ☎ 06(6586)6227

警察庁交通局交通企画課交通安全ファミリー作文コンクール担当 ☎ 03(3581)0141

<http://www.npa.go.jp/bureau/traffic/sakubun/index.html>

E-mail:sakubun@kaifusha.co.jp



# 交通事故の悲劇に学ぶ⑥〇

## ●罪と罰 無職 (22歳)

当時の私は、ただ毎日を楽しく過ごしたいという気持ちで日々を過ごしていましたが、このような事になるとは思いもしませんでした。

事件の日は、毎週のイベント事のように定期的に友人達と集まり、夕食をする約束がありました。私は仕事を終えた友人達を迎えに行き、そして友人達とともに行きつけの居酒屋に行きました。私はお酒が強くないため、普段はあまり飲みませんが、当時は無職で気ままな生活を送っていたことや、楽しさを追求していたので、車を運転することに伴う責任を考えるよりも自分の欲に負け、お酒を飲んでしまいました。

翌日は休日だったこともあり、夜遅くまでお酒を飲み続けていました。しかし、次の日には台風が上陸するとの天気予報があり、次第に雨や風が強くなってきたため、深夜の午前2時30分ころに解散しました。その時、私はほど良く酔っていましたが、飲酒運転や交通ルールを軽く考え、そのまま帰宅しようと車を運転しました。今にして思うと、その時の天候は、事件が起こる前の予兆だったのだと思います。

そして、いつも通っている4車線の大きな直線道路を走行している際、スマートフォンが光っていたため、つい脇見をしてしまいました。そして、再び前を見たところ、対向車線の方から横断している被害者の方を発見しましたが、ブレーキをかけようにも間に合わず、被害者の方と接触してしまいました。

私は、まさか夜中のこの道に人がいるはずないと思いましたが、車のフロントガラスは割れていたので現実だと悟りました。しかし、周囲には走行している車も人もいなかったため、このまま逃げてしまおうと思い、その場から逃げてしまいました。

結局、私はこの日は家に戻らず、ホテルに泊まりましたが、この出来事が現実でないことを祈っていました。しかし、翌日の朝のニュースで私の車が被害者の方と接触した事件現場が映され、被害者の方が亡くなってしまった事を知りました。



それでも私はこの事実を受け入れられず、約1ヶ月ほどの間、逃亡生活を続けていましたが、次第に家族の事が心配になり、結局、私は警察に出頭しました。

警察で逮捕、勾留された後、釈放された私は、被害者ご遺族の方に謝罪の手紙を送らせて頂きましたが、「手紙を出すより直接謝りに来るべきだ」とのお返事があり、裁判の日に初めて直接謝罪しました。

しかし、公判では叫びながら「亡くなった人を返せ」と言われました。そして、私に言い渡された判決は、過失運転致死及び道路交通法違反につき懲役2年6月というものでした。事件の原因や命を奪い、被害者の方や被害者ご遺族の方の人生を滅茶苦茶にしたことなどを今にして考えると、この判決は軽いのではないかと思っています。

その後、被害者ご遺族の方との示談が成立し、被害者ご遺族の方から「二度と関わらないで欲しい」と言われましたが、自分のしてしまった事は生涯をかけて償わなければならない事です。被害者の方、被害者ご遺族の方の深い悲しみや、怒り、憎しみをこれからも背負って生きていかなければならることは、自分の欲に負け、責任という事について甘く考えていたのが私の罪であり、罰なのだと今は思っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々(第52集)」から～

## 賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- トヨタカローラ横浜(株) 横浜市中区長者町
- (株)横浜高島屋 横浜市西区南幸
- JX日鉱日石エネルギー(株)根岸給油所 横浜市磯子区鳳町

## この人 150



野村 修平さん  
（財）鎌倉交通安全協会 会長



鎌倉交通安全協会は、昭和31年4月に設立され、現在に至っております。

地域の特色としては神社祭礼が多く、1月1日にその年の御加護を祈念する歳旦祭をはじめとした祭事等のイベントで始まり、節分祭、鎌倉祭り、鎌倉花火大会、鎌倉ビーチフェスタ、ほんぽり祭り等の開催により、市内の交通渋滞が慢性化しているのが現状です。

さて、今回はこの「観光の都市鎌倉」の地で、交通安全協会会长を務めております野村修平さんをご紹介します。会長は生まれも育ちも鎌倉で、この地をこよなく愛する、生粋の鎌倉人であります。鎌倉交通安全協会との関わりは、平成2年6月から代議員として協会の事業運営に参画したのが始まりで、その後、理事職を経て平成22年6月に会長に就任されました。

家業である工務店の実業家としての手腕、平成9年から鎌倉市議会議員として3期12年にわたる行政マンとしての経験を遺憾なく発揮し、交通ボランティアのリーダー

として市内の交通安全活動に取り組んでおられます。

また、こうしたボランティア活動の傍ら、町内会長、学校評議員、ボーリング協会会長として、ご自身の元気と健康を見極めながら活動され、地域の融和と振興にも貢献されています。また、平成30年4月から防犯協会会长職も兼務し、益々の多忙を極めております。

今後も交通安全ボランティア活動の中心として、警察署や関係機関・団体等と緊密な連携を取りながら、二輪車、高齢者の交通安全及び自転車のマナーアップを図り、市内全域に交通安全活動を浸透していくことを語っています。

これからも健康に留意され、益々のご活躍を願っております。

（取材協力：（一財）鎌倉交通安全協会）

## ここには 「都筑交通安全協会」です

都筑区は横浜市北西部に位置し、緑区と港北区の一部を合わせて、平成6年11月に誕生し、人口は21万人で15歳未満が16.4%であり市内で一番若者が多い街になっています。

区内には、自動車専用道路の第三京浜が走り、渋滞解消対策として横浜環状北線が、昨年の春、港北インターから首都高速横羽線生麦インターまで開通し、さらに、東京オリンピック・パラリンピック開催までに、東名高速道路横浜青葉インターまで延長する工事が進んでいます。利便性の向上が期待できる一方、大型商業施設や大型マンションの建設も増えて人口増加に伴い、交通量も多くなることから交通事故の増加が懸念されるところです。

当協会は、都筑区の誕生と同時に発足しましたが、平成12年5月に港北

警察署から分かれ都筑警察署が完成した時に、事務所を警察署内に移し、区内における交通安全活動に力を注いで参りました。

現在は、第三代会長である加藤恒雄会長を筆頭に、役員や交通指導員等の他、警察署、区交対協、交通関係団体、町内会、老人会等の積極的な協力のもと、区内居住の有名人を招いて各季の交通安全運動等で広報啓発活動を展開しています。

また、都筑区誕生と同時に当協会が管理している、ゴリラ像の「都筑まる君」が歴史博物館前交差点に鎮座し、常に地域の交通安全に目を光らせており、いつまでも地域に愛され続けるよう塗装等の維持管理をしております。

今年の区内の交通情勢は、残念ながら前年より交通死亡事故が増加していますが、警察署や関係機関団体と協力して悲惨な交通事故防止に努



めるとともに、当協会事務局は、事務長以下4名の職員等で「親切、丁寧、笑顔と思いやり」を持って、ボランティア活動に賛同していただける会員の加入促進に励んでおります。今後も地域に根ざした交通安全活動を目指していきたいと思います。

（鳴原 記）

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

## 地区交通安全協会の活動紹介



旭 今宿交番前での二輪車交通事故防止キャンペーン



都筑 センター北駅前での二輪車交通事故防止キャンペーン



田浦 国道16号船越交差点での二輪車交通事故防止キャンペーン



南 区役所周辺での暴走族追放キャンペーン



海老名 海老名駅自由通路での二輪車交通事故防止キャンペーン

## 二輪車交通事故防止強化月間



宮前 馬絹地区での二輪車交通事故防止キャンペーン



茅ヶ崎 茅ヶ崎駅前での暴走族追放キャンペーン



鶴見 鶴見駅前での二輪車交通事故防止キャンペーン



大船 鎌倉女子大前交差点での二輪車交通事故防止キャンペーン



伊勢原 警察署前での二輪車交通事故防止キャンペーン

## インフォメーション

● 第53回交通安全子供自転車全国大会

8月8日(水)東京ビッグサイト